

米奥小だより

令和8年6月8日（月）

No. 9

米奥小学校 校長 北添 忠

〇修学旅行

今年の修学旅行は米奥小が団長校で、6年生の担任と校長が引率団として参加しました。今年は、七里小、影野小、仁井田小、米奥小合わせて20名の6年生が修学旅行に行きました。広島県が主な行先で、1日目に宮島とプロ野球観戦、2日目に平和公園を訪れました。平和公園では原爆ドームの見学や折り鶴を奉納する平和集会、被爆体験者による語り部学習、資料館の見学などを行いました。2日目の午後は岡山県に移動し吉備古墳群を見学しました。最終日は造船所の見学とレオマワールドでした。



私が小学生だった約50年前の修学旅行は金毘羅と小豆島、屋島だったように記憶していますが、交通機関が発達し、今では2泊3日で四国を出て、さまざまな研修ができるようになりました。今回の修学旅行に参加して一番感じたことは、4校の6年生の気持ちが時間の経過とともに近づき、最終日には一つ

の学校のようになったことでした。修学旅行の目的にはいくつかありますが、この4校合同修学旅行においては、中学校進学に向けての仲間づくりが一番大きいかなと思ったことでした。

来年度以降も、基本的には、今年度の行程を基本に計画を立てる予定です。小学校の行事の中で大きな思い出の一つとなる修学旅行。これからも4校で話し合い、有意義な修学旅行を計画し、実施していきます。



〇イモのつるを植えました。

5月末に耕し、6月はじめにマルチをかけて準備をした学校の畑に、6月4日の朝、全校児童がイモのつるを植えました。マルチをスコップなどでやぶき、土を掘ってイモの苗を植える児童が多い中、割りばしで作った苗挿し棒を使



って器用にイモの苗を挿す児童もいました。店で売っているようなサツマイモはなかなかできませんが、秋には個性豊かなサツマイモがたくさん収穫できそうです。